

1 - 3 北海道地方とその周辺の最近の地震活動 (1996年11月～1997年4月) Recent Seismic Activity in and around the Hokkaido District (November, 1996-April, 1997)

札幌管区气象台

Sapporo District Meteorological Observatory, JMA

1996年11月～1997年1月, 1997年2月～4月の各3ヶ月間の震央分布図を第1図(a)と(b)に示す。これらの期間, 北海道とその周辺の地震活動は12月及び2月にそれぞれ日本海側と太平洋側の海域でM5.5以上の地震が発生したが, 余震の発生は少なく比較的静穏であった。主な地震活動について順を追って挙げる。12月22日, 北海道西方沖でM6.6のやや深発地震(深さ255km)が発生した。この地震は太平洋プレート内で発生した地震で, 余震は観測されていない。この付近の深い地震でM6を越えたのは1981年5月9日のM6.4(深さ240km)以来である。2月20日, 「昭和57年浦河沖地震(M:7.1)」の南東側約40kmの浦河沖でM5.6の地震が発生し, 浦河町で震度5弱を観測した。余震が発生したが発生回数は少ない。今回の地震は地震活動の活発な浦河沖の中では活動レベルが比較的低い地域で発生したもので, 浦河沖全体でも最近の地震活動は低レベルにあり, M5.5以上の地震が発生したのは1993年9月以来である¹⁾。2月22日, 択捉島付近(1995年12月4日のM7.2を含む比較的規模の大きな地震が多発した地域の南西端)で, M5.9の地震が発生した。12月28日にはこの西隣の「平成6年北海道東方沖地震」の余震域の東端付近でM5.9の地震が発生したが, 全般的にみて余震活動の低下傾向に変化はない(第2図参照)。

一方, 1995年10月1日から始まった松前沖の群発地震活動は, 1996年4月頃から活動レベルが低下し²⁾³⁾, 1997年に入ってほぼ沈静化したかにみえたが, 4月25日から再びややまとまって発生し, 5日間連続して有感となった。その後, 5月5日にはこれまでの活動域の南端付近で一連の地震活動の最大規模であるM4.4の地震が発生した。この地震の余震とみられる地震が急増したがこの活動は長続きせず, 6日から15日までの地震回数は5回となっている(第3図参照)。また, 「平成5年北海道南西沖地震」の余震も順調に減ってきており, 特に余震域の北半分では1996年10月頃から活動レベルの低下が明瞭になっている(本巻別項参照)。なお, この期間, 渡島半島東部の南茅部付近の地震活動は発生の頻度, 規模共ほとんど変化がみられない³⁾。

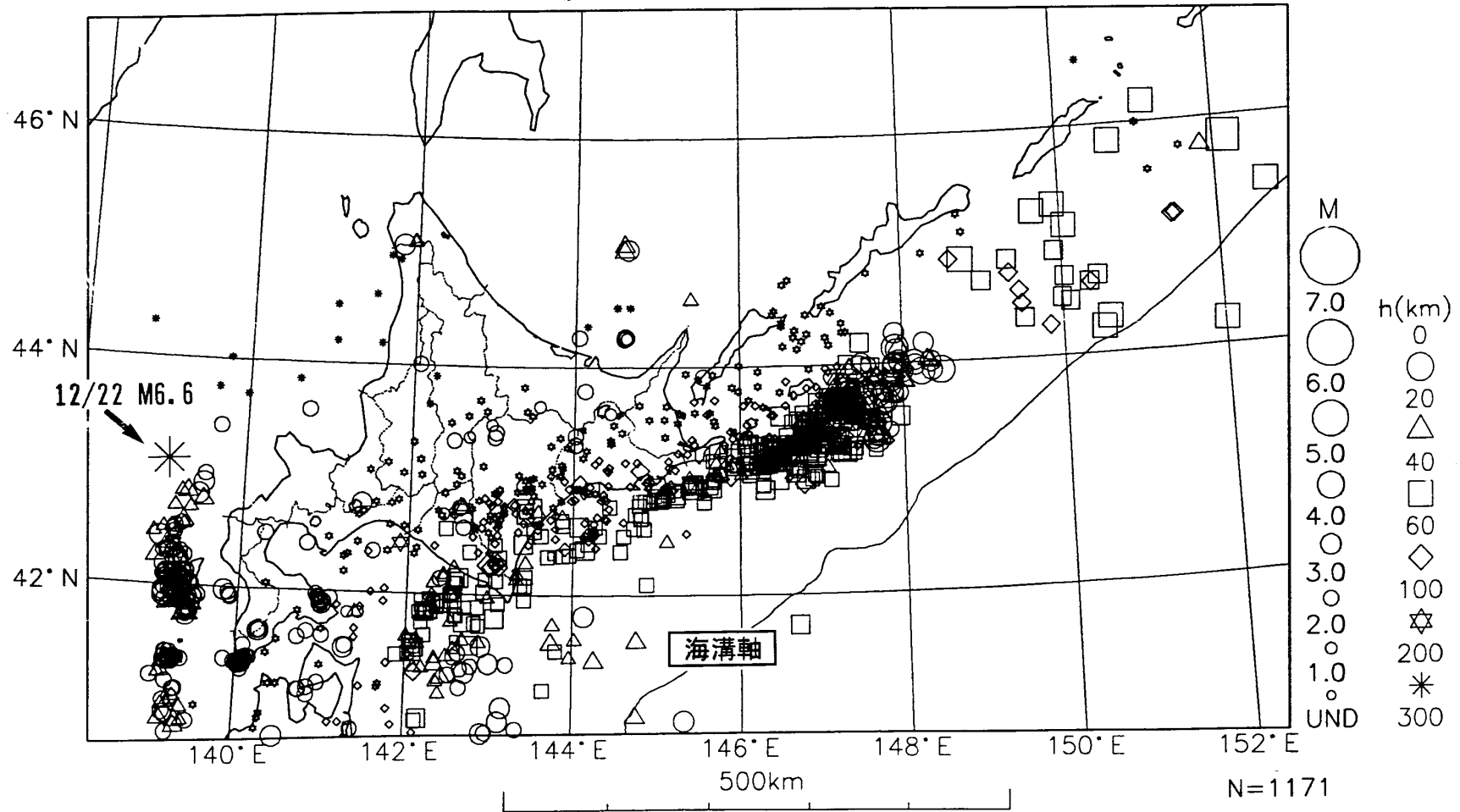
参 考 文 献

- 1) 札幌管区气象台:浦河沖の地震活動(1926年1月～1996年10月), 連絡会報, 57(1997), 1-2.
- 2) 札幌管区气象台:北海道南西沖(松前沖)の地震活動(1995年10月～11月)連絡会報 55(1996), 29-32.
- 3) 札幌管区气象台:北海道南西部の地震活動(1996年5月～1996年10月), 連絡会報, 57(1997), 5-8.

北海道地方とその周辺の地震活動 (1996年11月~1997年1月 $h \leq 300 \text{ km}$)

札幌管区気象台

震央分布図



1996 11 01 00:00 -- 1997 01 31 24:00

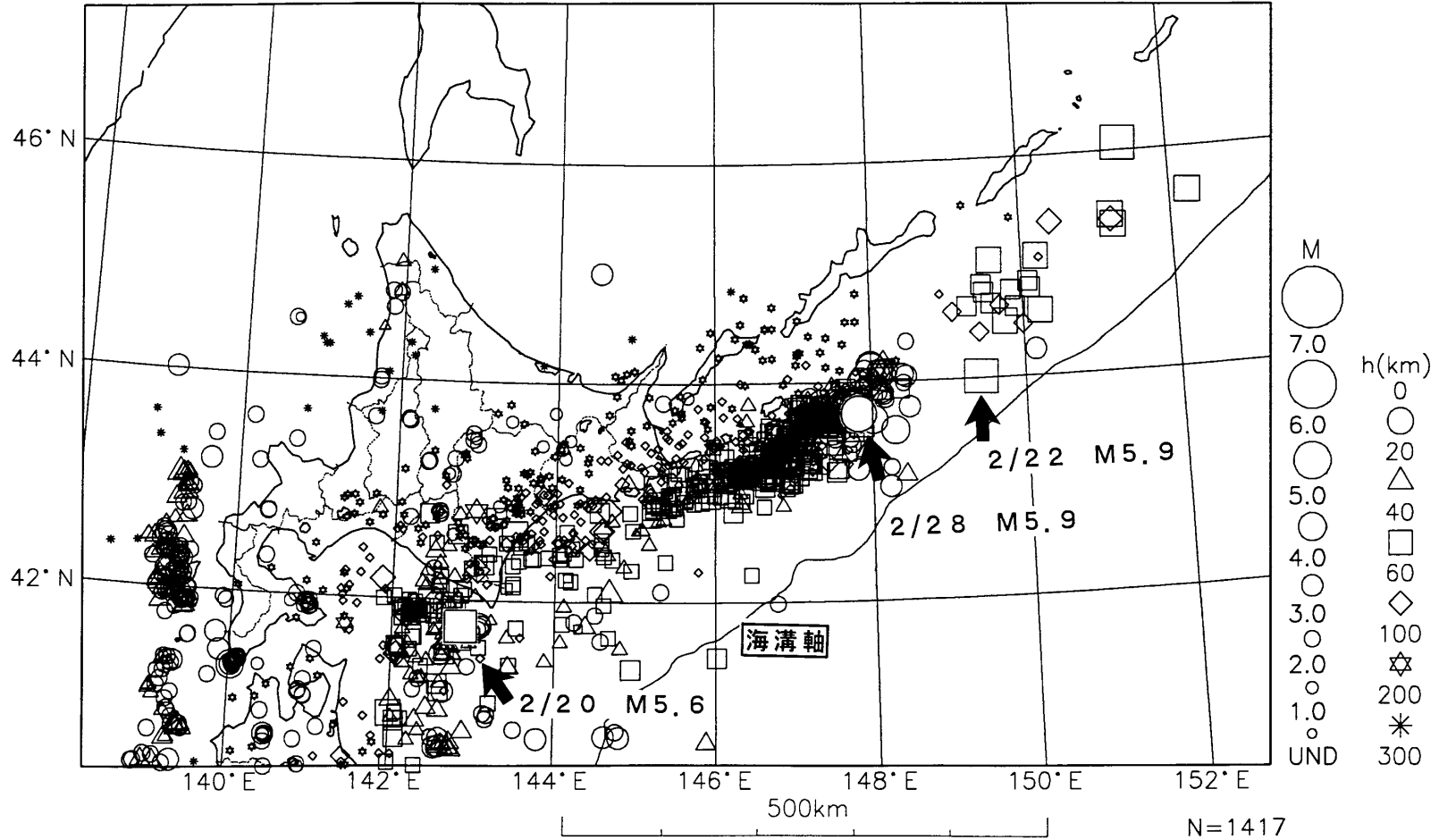
第1図 北海道周辺の地震の震央分布。(a) 1996年11月~1997年1月 ($h \leq 300 \text{ km}$)

Fig.1 Epicentral distribution of earthquakes in and around the Hokkaido District. (a) November, 1996-January, 1997 ($h \leq 300 \text{ km}$).

北海道地方とその周辺の地震活動 (1997年2月~1997年4月 $h \leq 300 \text{ km}$)

札幌管区気象台

震央分布図

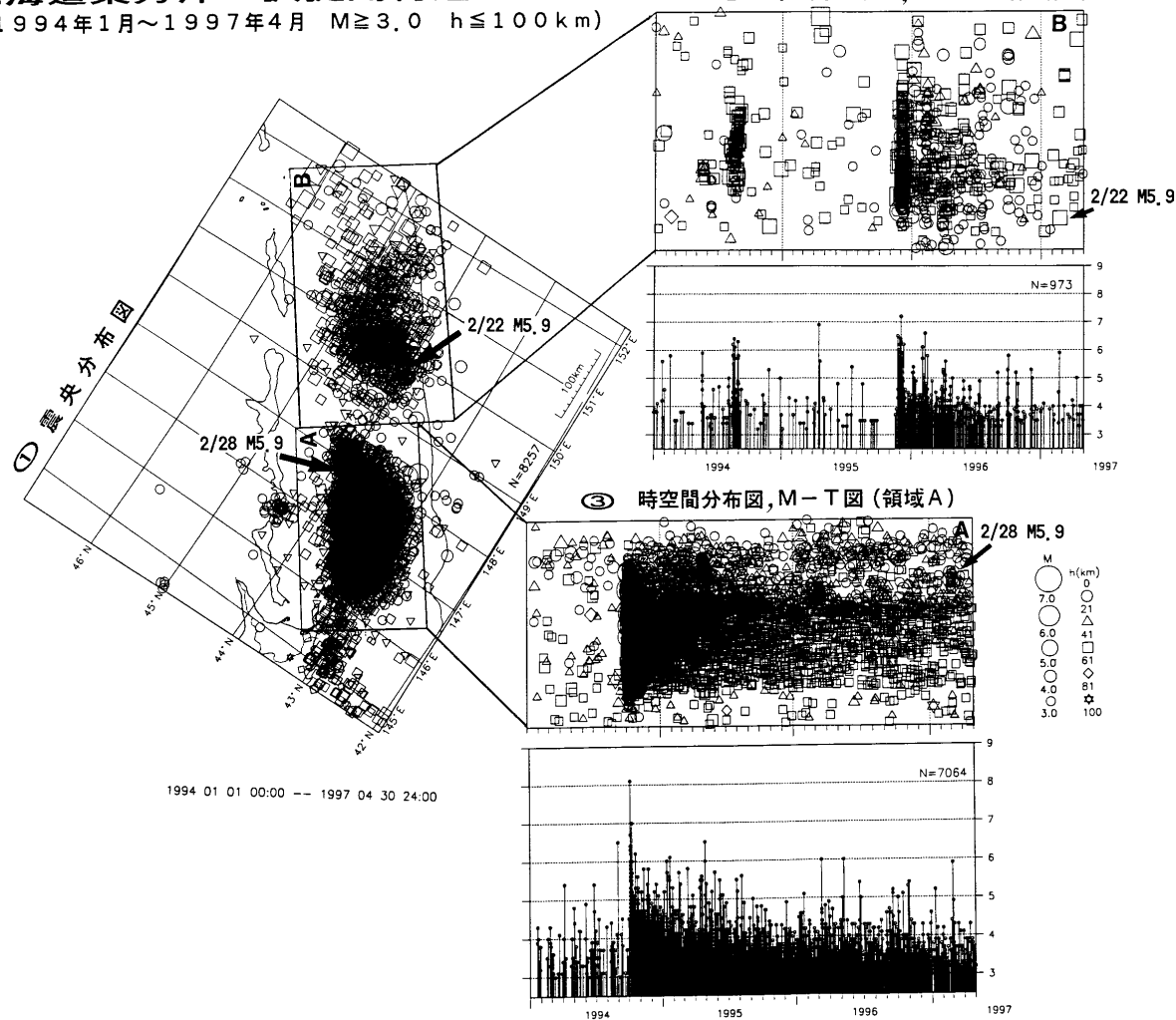


1997 02 01 00:00 -- 1997 04 30 24:00

第1図 つづき (b) 1997年2月~4月 ($h \leq 300 \text{ km}$)

Fig.1 (Continued). (b) February-April, 1997 ($h \leq 300 \text{ km}$).

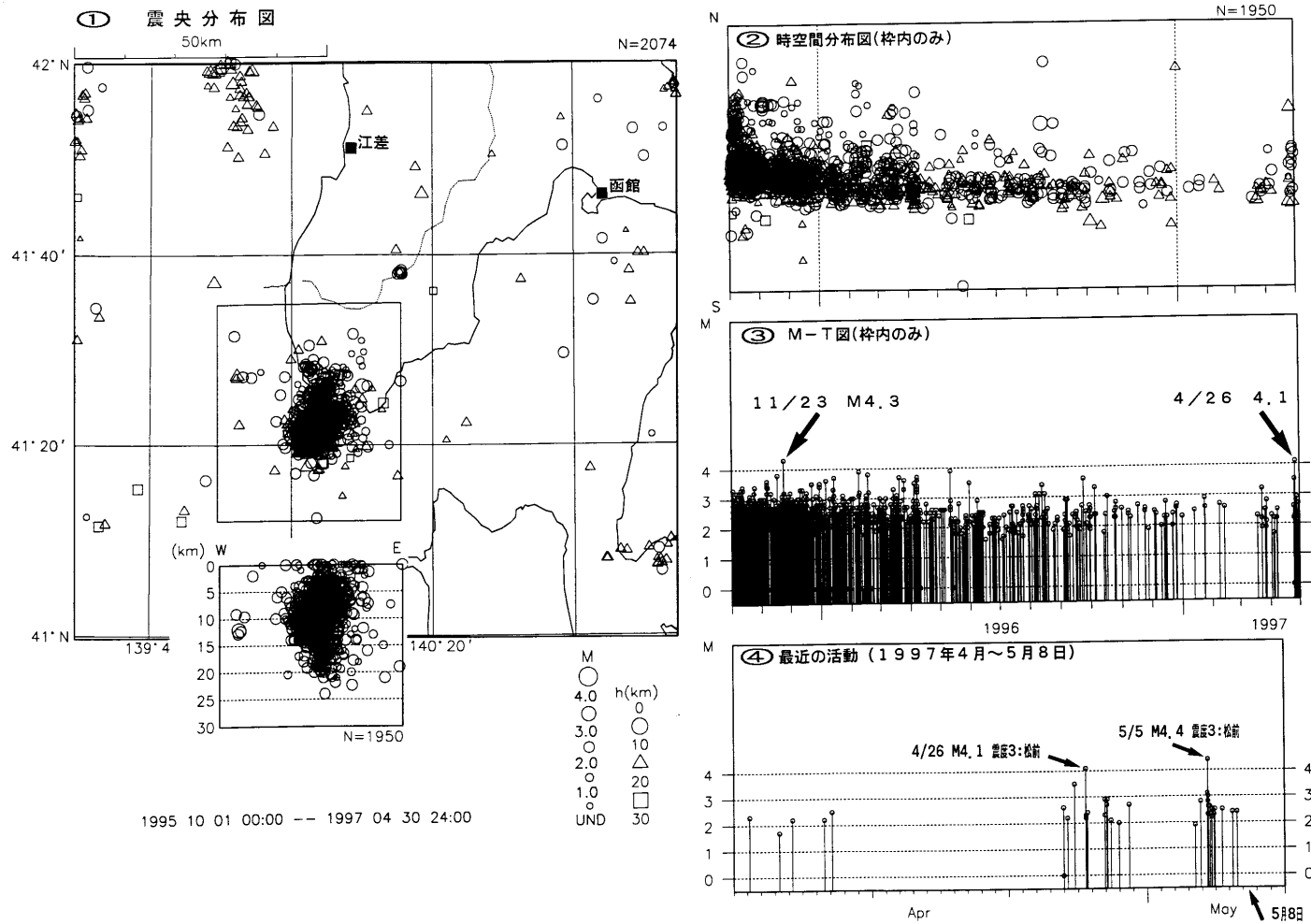
北海道東方沖～択捉島付近の地震活動 ② 時空間分布図, M-T図(領域B)
 (1994年1月～1997年4月 M \geq 3.0 h \leq 100km)



第2図 北海道東方沖～択捉島付近の地震活動 (1994年1月～1997年4月 M \geq 3.0 h \leq 100km)。震央分布図, 時空間分布図, M-T図(領域B), 時空間分布図, M-T図(領域A)

Fig.2 Seismic Activity from East off Hokkaido to near Etorofu Island(January, 1994-April, 1997 M \geq 3.0 h \leq 100 km). Epicentral distribution, space-time plots, M-T diagram (region B), space-time plots, M-T diagram (region A).

松前沖の地震活動 (1995年10月~1997年4月 $h \leq 30$ km)



第3図 松前沖の地震活動 (1995年10月~1997年4月 $h \leq 30$ km), 震央分布図, 時空間分布図(枠内のみ), M-T図(枠内のみ), 最近の活動

Fig.3 Seismic activity off Matsumae (October, 1995-April, 1997 $h \leq 30$ km). epicentral distribution, space-time distribution (in the rectangular region), M-T diagram (in the rectangular region), Recent Seismic activity.